

基本構想の提案について

資料 1

佐藤茂駅長候補者の任用にあたっては、遠軽 IC 道の駅検討協議会をはじめ、事務局（遠軽町、（一社）えんがる町観光協会、遠軽商工会議所、えんがる商工会、フォーレストパークほか）との連携はもとより、これまでの経験を生かした企画提案及び管理運営体制の整備など、遠軽 IC 道の駅開業のために必要な準備作業を行っていただくこととなります。

その主な業務内容を以下に表すとともに、今後の方針となる主な基本構想について、提案いたします。

1 主な業務内容（遠軽 IC 道の駅駅長候補者募集要項より抜粋）

遠軽 IC 道の駅の開業準備に関すること（開業前：駅長候補者）

- ・町内外各種イベント等運営・支援業務。
- ・道の駅の管理運営の企画立案、農産物直売所・物産品販売店・飲食施設等の企画立案業務。
- ・スキー場や地域と連動した体験プログラムの企画立案

	内容	時期
1	管理運営指針の検討・策定 ・道の駅運営に係る職員（正職員、パート職員等）の要員計画 ・売上予測、収支計画の作成など	～平成 30 年 4 月
2	検討協議会、考える会、幹事会等の運営 ・各種アクティビティの検討 ・特産品の開発及び物販商品の選定 ・出店・出品者に関する調整 ・道の駅施設設備・備品の選定など	随時 ～平成 31 年 10 月
3	指定管理者選定準備 ・指定管理料の積算 ・条例制定（地域拠点施設準備室作成）	平成 30 年度中
4	道の駅登録準備 ・登録申請書類作成	平成 30 年度中
5	施設視察、研修・イベント参加 ・道内外における道の駅及び体験プログラム関連施設の視察 ・道の駅関連研修会及び町内外イベントへの参加など	随時
6	プレオープン・グランドオープンイベントの企画実施 ・ロジックローズ・オープンイベント ・グランドオープンイベント ・遠軽 IC 開通記念式典との連携など	～平成 31 年 12 月 及び遠軽 IC 開通時期
7	その他遠軽 IC 道の駅に関する事項	随時

2 主な基本構想

(1) 基本事項

①地元の皆さんに愛される道の駅

- リピーターの確保
- 地元が利用しないところに将来はない

- ・目的を持って来てもらうための仕掛け
- ・継続的な利用の促進
- ・飽きさせない工夫



②特徴を活かした展開

- スキー場併設のメリット（話題性・インパクト）
- 一本桜のブランド化
- SNSを意識した仕掛け

- ・立地やロケーションの良さを活かす
- ・エゾヤマザクラは開花時期が短く、美しさも年によってバラつきがある
- ・SNS映えする展開から情報の拡散を図る



③スキーシーズン以外の集客

- リフトの活用によるゲレンデの有効利用
- 団体客の誘致による収益の確保

- ・観光バスの受入体制を整備する（トイレ、団体用メニュー、体験プログラムほか）
- ・夏場のゲレンデ利用は冬場に影響の無いようにする必要がある



④雇用の促進

- スキー場スタッフの通年雇用
- 若者の雇用

- ・通年雇用により仕事の質も向上する
- ・特殊な免許を持つ方の確保にもつながる
- ・季節雇用は若者が少なく、すぐ辞めることも多いので通年雇用が望ましい



他の道の駅とは、スキー場併設というところが根本的に異なる。
その素晴らしいロケーションを活かし、道の駅というよりも、森の公園として捉え、1つの『テーマパーク』として考える。

- ☆ **チャレンジ！** ～ やってみたいとわからない ～
- ☆ **大胆に！** ～ 他でやっていない新しいこと ～
- ☆ **稼ぐ！** ～ 年間通した魅力の創出 ～

(2) 具体的事項

	提案事項	概要
指定管理	独立採算制の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・町からの指定管理料に頼らず「甘え」が生じないように工夫する ・大規模な修繕や機械等購入に係る費用は町負担と考える ・実現に向けて収支計画を立てた中で精査する
	テナント制からの方針転換	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の直営により一体感の醸成や目玉商品の創出、店舗の「歯抜け」の防止を図る ・ブースは分けずにオープンスペースとし、主なメニューについては、テイクアウトは500円以下、店内は1,000円以下を想定する ・地元業者に対しては、指定管理者が考えるメニューについて提案型のオファーを出し、作って納入するという形に特化させることでリスクの軽減を図る ・1階と2階で提供するジャンルのすみ分けを図る
	ホール・デッキ等の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・団体に対しては、晴天時は屋外デッキ、悪天候時はホールを活用する ・グレンデのロケーションを最大限活かし、ジンギスカンやバーベキューなどを提供する ・真空パックでの納入、保管、提供によりコストダウンを図る ・オシャレなカフェ的なメニュー（コーヒー、紅茶、スイーツほか）を提供することで、女性ウケを意識する
産業・食	遠軽・オホーツクの製品の選定	<ul style="list-style-type: none"> ・駅長候補者を中心に随時、管内・道内道の駅の視察を実施 ・魅力的な商品をピックアップし、売り場の構成を検討 ・生産者を訪問した中で交渉などを進める
	写真スポット（展望台ほか）	<ul style="list-style-type: none"> ・ここでしか撮れない写真を撮ってもらえるよう、見せ方の工夫をする ・SNS映えを意識した写真スポットを確立する
	安全性（リフト・ジップラインほか）	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントの徹底を図る ・各種体験プログラムの定期点検等を充実させる ・危険性をあらかじめ排除する
体験	自然（花・動物ほか）	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の集客やファミリー層の利用を考慮すると最も有効なツールである ・花の植栽は気候風土や土壌の適性、グレンデへの影響を考慮する ・動物の冬期間の管理や飼育小屋等の管理方法等の問題点を整理する ・ドッグランについてもスペースやグレンデへの影響を考慮する
	足湯（高濃度炭酸泉）	<ul style="list-style-type: none"> ・温泉の運搬や温泉法の届出の必要がないこと等のメリットが多い ・継続的な入浴による健康増進効果（血圧の低下）によるリピーターの確保を図る ・広告宣伝としての機能を持たせ、町内温浴施設への誘導を促す ・屋外での建設を前提として、一番の問題となるコストの部分を精査する
情報発信	道の駅名称	<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かなロケーションがイメージできる名称が望ましい ・平成30年度中の募集・選定とする
	ロゴマーク	<ul style="list-style-type: none"> ・商品パッケージや施設内などに統一されたロゴマークを施し、ブランド力の向上を図る ・平成30年度中の募集・選定とする
	ターゲットを意識したアプローチ	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー層をメインとした中で、高齢者・女性・子どもなどのすみ分けを図る ・観光バス・長距離トラック等の情報網を考慮したサービスを提供する